

Rotary



2017-18年度 ガバナー月信

5月号

Vol.11

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660



**ROTARY:
MAKING A
DIFFERENCE**

2017-18年度 国際ロータリー テーマ

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-18年度 第2660地区ガバナースローガン

個性を活かし、参加しよう

2017-18年度 国際ロータリー第2660地区
ガバナー 片山 勉



2017–2018 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 5月号 Vol.11

CONTENTS

ガバナーメッセージ 青少年奉仕月間によせて	1
地区ビジョンについて	2
IM第7組 フレッシュロータリアン研修交流会 報告	3
IM第6組 ロータリーデー 報告	4
IM第1組 ロータリーデー 報告	5
IM第4組 ロータリーデー 報告	6
IM第1組 フレッシュロータリアン研修交流会 報告	7
IM第4組 フレッシュロータリアン研修交流会 報告	8
米山奨学生終了式・歓送会 報告	9
米山奨学生 オリエンテーション報告	10
交換学生スキーの集いに参加して	11
ローターアクト地区献血等報告	12
「地区大会記録書」掲載のお知らせ	14
米山奨学会委員会／ロータリー財団	15
ロータリー財団 寄付状況	16
米山奨学会 寄付状況	18
2018年3月度 会員数・出席報告	20
My Rotary 登録状況	21
コーディネーターニュース	23
文庫通信	24
敬弔／お知らせ	25



片山偕子 画

花菖蒲

花言葉
「うれしい知らせ」
「あなたを信じる」
「心意気」「優しい心」
「優雅」「信頼」

青少年奉仕月間によせて



国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

片山 勉

(大阪東RC)

5月は若い人々の育成を支援するすべてのロータリー活動に焦点を当てる「青少年奉仕月間」です。私達ロータリアンの責任は未来を託す年齢30歳までの若い人すべてを含む青少年の現状を認識しつつ、スキルと人格を養いながら、リーダーシップ、国際理解、世界平和そして高い倫理感と奉仕といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することです。

R I 常設プログラムには、インタークト（12歳から18歳までの青少年を支援するR I の奉仕クラブ）・ロータークト（18歳から30歳までの青年男女を提唱するR I の奉仕クラブ）・RYLA（14歳から30歳までの若者を対象の指導者養成プログラム）・青少年交換（最長で1年間、母国以外の国でホストファミリーと生活を共にし、学校へ通う交換プログラム）があり、これらとは別に日本が誇る米山記念奨学会があります。

この様にロータリーの様々なプログラムに多数の青少年が参加しています。

日本でも貧困の連鎖、教育の格差、若者達の将来への不安増幅等、非常に大きな問題が起こっており、私達ロータリアンにとって他人事ではありません。

幸いロータリーが実行している青少年奉仕活動は素晴らしいものであり、多くのロータリアンはこれらに参加したり、共に行動したりすることによって私達の思いを伝えることができます。

私達ロータリアンは自ら行動を起こし、もっと積極的に関与し、未来を担う若者達にチャンスを与え、若者達が社会で活躍する人材として育つことを支援することが重要です。

また昨年創設されましたロータリー学友会にプログラムを終了した若者に入会をすすめ、ロータリーとの絆をつなぐことが大切です。

しかし、その素晴らしい活動の中で注意すべき点もあります。それは危機管理です。

危機管理は若者達が健全に育つことを願い、ロータリアン、ロータリークラブ、R I が厳守しなければならないゴールデンルールです。

是非「青少年の保護」に関わる文書をご一読ください。

〔参考〕 ロータリー章典 (2.100.1-4, 41-010.27, 41.060.12, 41.060.23)

ロータリー青少年保護の手引き



地区ビジョンについて

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

片山 勉

(大阪東RC)

昨年12月に全82クラブの公式訪問を終えました。

ほとんどのクラブがロータリーについて真剣に考え、熱心に親睦と奉仕の両輪を廻し続けておられる姿に接し、感動を受けました。

同時に地区としてクラブを支援するうえで、「変えてはならないもの・変えるべきもの」と「継続性が必要なこと・単年度で実施すること」を整理し、「変えてはならないもの・継続性が必要なこと」を中期（5ヶ年）計画としてまとめるべきと思い、山本G E、四宮G N、簡G N Dと相談・議論し、案をまとめ、地区戦略計画委員会に提案、審議を経て、4月7日に開催されました地区研修・協議会で発表しました。

ぜひ、クラブ活動計画・運営の一助として御理解いただきますように、お願ひ致します。

国際ロータリー第2660地区 地区ビジョン

国際ロータリー 第2660地区 ガバナー

片山 勉

地区戦略計画委員会 委員長 パストガバナー

高島 凱夫

ガバナーエレクト

山本 博史

ガバナーノミニー

四宮 孝郎

ガバナーノミニー・デジグネット

簡 仁一

- ◆ 私たち第2660地区はRIテーマを理解し、地域の特性にあった活動をすることにより具現化します。
- ◆ ロータリーの原点である親睦と職業奉仕を根幹とし、世界及び地域社会で良い変化を生み出します。
- ◆ それぞれが「魅力ある・元気ある・個性ある」クラブになる事を目指します。

地区中期5ヶ年目標 (2017-18~2021-22年度)

1. クラブのサポートと強化

- ▶ 各クラブが将来のビジョンを持つように推奨します。
- ▶ クラブ会員基盤を強化します。
- ▶ 会員規模については地区で4,000名（純増82名×5ヶ年）を目指します。
年令・男女構成等の中期計画をもとに、会員維持、会員増強、クラブ拡大を支援します。

2. 人道的奉仕の重点化と増加

- ▶ ニーズを把握し人々と共に手をつなぎ、成果の持続可能な奉仕を強化します。
- ▶ 財団補助金の利用実績50件を目指します。
- ▶ ロータリー財団及び米山記念奨学会への寄付を推進し、寄付ゼロクラブが無くなることを目指します。

3. 公共イメージと認知度の向上

- ▶ ロータリーの奉仕活動によって感動と誇りを得、その魅力を周りの人々に伝えます。
- ▶ 地域社会に開かれたロータリー活動を実施し公共イメージ向上を推進します。
- ▶ IT化の推進をはかり、マイロータリーの登録率65%、クラブセントラルの活用率75%を目指します。



IM第7組 フレッシュロータリアン研修交流会報告 テーマ『ロータリーの約束』

IM第7組 ガバナー補佐

武田太郎

(大阪南RC)

日 時：2018年3月14日(水) 18時～20時

会 場：ホテルモントレグラスミア大阪 23階『ウインダミアホール』

ホストクラブ：大阪南RC (協力：大阪御堂筋本町RC)

出席者：片山Gはじめ地区関係者12名、IM第7組9クラブからFR38名、R19名

藤井眞澄 地区クラブ奉仕・拡大増強委員長よりテーマ『ロータリーの約束』が講演されました。ロータリーの113年の歴史の中で、『奉仕と親睦』のロータリーの理念が生まれ、時代の変化と共にロータリーが高潔な組織に変貌して来た経緯を簡潔にして内容の濃い講演を拝聴しました。短い時間に盛沢山の内容をご説明頂きましたが、フレッシュロータリアンには大変参考になった事と思っています。

各テーブルでのバズセッションにおいては、明確なテーマを定めなかった私のミスリードで真のバズセッションとなり、結果として各テーブルのバズセッションの内容は非常に多岐に亘りました。

一例を挙げますと、女性のフレッシュロータリアンから『南ロータリークラブに入会し人生感が変わり、非常に楽しくロータリーライフを楽しんでいる。これも4名が同時入会出来た事や、受け入れ側の包容力があったからだと感じている。女性会員の入会には色々な意見がまだあるが、大阪南には本年既に2名の入会があった。女性の入会についてはクラブ毎に温度差があるが、各テーブルの大半の女性会員は入会しロータリーライフを経験し良かった。このまま続けて活動したいとの積極的なご意見が多くある一方、子育て、仕事、ロータリーライフのバランスが難しい』との話もあり非常に難しい課題が提起されています。山本GEからは増強という点では、組織の継続性、組織活動の質、幅において女性会員の勧誘は重要な要素であり、各クラブ会員数の目標を定め、新入会員の発掘と入会後も維持・継続して頂きたいとの発言がありました。自クラブに女性会員がおられない片山Gは今日の話をクラブに持ち帰りますとのご意見もありました。

また別のフレッシュロータリアンから『ロータリアンは断ってはいけない』と言われるが、全てを引き受け事は難しい、と言う切実な訴えや、「地域社会との関わりと言ひながら、運転手付きの車で 昼食を高級レストランでしていて、地域を感じられるのか」と言う手厳しい話、「卓話の当番に話す事がなくなつて困ってしまう、商売の話をしてはいけないとされているが、会員の選考はもっと厳しくやっても良いのではないか」等、日頃の疑問や希望が出ました。

先輩ロータリアンからは、ロータリーライフを続け積極的参加する事で多くの人と接し、多くの体験をし、沢山の感動を得て、人生が豊かなものになったという素晴らしい答えが出ていました。

また、交流の面でも他のクラブの色々な情報の交換の場となった様です。そしてフレッシュロータリアンにとってはロータリアンとしての楽しさ、人の繋がりの楽しさを感じ学んで頂けたのではないでしょうか。また、ロータリー歴の長いロータリアンに取っては若いフレッシュロータリアンとの距離が短くなった良い機会だった事でしょう。

今回のフレッシュロータリアン研修交流会開催に携わり、このフレッシュロータリアン研修交流会は大変意義のある事業である事を痛感しました。





IM第6組ロータリーデー 報告

大阪RC 幹事

井戸 剛

ホストクラブ：大阪RC（会長 早嶋 茂 実行委員長 山本雅弘）

開催日時：2018年3月17日（土）

12:30～登録・受付 13:00～17:00 式典・シンポジウム 17:10～18:00 懇親会

会場：大阪国際会議場12階「特別会議場」、レストラン「グラントック」

登録：298名

来賓、地区役員
 11RC（大阪東RC、大阪東淀ちややまちRC、大阪城東RC、大阪中之島RC、大阪大手前RC、
 大阪城北RC、大阪天満橋RC、大阪鶴見RC、大阪淀川RC、新大阪RC、大阪RC）
 相愛IAC、大阪RAC、IM6組内米山奨学生

現行IM 6組最後のロータリーデーを当クラブがホスト役で実施しました。

テーマは「大阪の文化は今……文化創造都市をめざしてー」。

2020年東京五輪の開催を前に、日本各地で文化のイベントが開催されており、大阪も昨年から動き出しています。こうした中、大阪の文化状況を語り、我々ロータリアンができるることはなにかを考えたいという主旨です。

開会セレモニーに続いて、山本章弘会員による「能プレゼンテーション」。通常の能舞台にある「老松」の代わりに、IM6組内の米山奨学生、相愛IAC、大阪RACたちが描いたカラフルな色紙を配した「松」の前で「高砂」を披露されました。

基調講演は、兵庫県立美術館の蓑 豊館長。「都市文化におけるミュージアムの役割」というテーマで、美術館がまちおこしに貢献した例を紹介され、各展示作品はもちろん、素晴らしい建築の美術館が集客力をアップし街を変える、子どもたちに芸術に触れる機会を作ることで感性が磨かれ将来に繋がると、お話しされました。

休憩をはさんでのパネルディスカッションには、吉村洋文大阪市長、大阪観光局の溝畠 宏理事長を招聘していましたが、ギックリ腰のため当日急遽欠席になった吉村市長に代わり、蓑氏に引き続きご登壇いただき、大阪の地域発展に取り組んでおられる当クラブ3名の会員・黒田章裕会員、宮原秀夫会員、薩摩和男会員にパネリストをお願いし、実行委員長の山本雅弘会員がモデレーターを務めました。

溝畠氏は「文化と観光はセットで考えるべき。大阪の文化を掘り起こし、発信する必要がある」とお話しされ、また、ロータリークラブに対して「地域社会の人々がその文化を知り地域愛を育てることに繋がるよう、大阪について考え、提案・発信するこのような機会を増やしてほしい」などのご要望がありました。

討論終了後、閉会式に移り、来年度から新編成となるため現行6組が関連する新しい組の次年度ホストクラブの挨拶などがありました。

その後、現行6組お別れ会を兼ねた懇親会を開催。100名を超えるご出席を賜り、盛会裏に終えました。





IM第1組ロータリーデー 報告

豊中南RC 会長

**三木得生
岡本眞弘**

(豊中南RC)

テーマ：「地域社会に良いことをしよう」 記念植樹&春一番コンサートin服部緑地公園

日時：2018年3月24日（土） 10：30～15：30

場所：大阪府立服部緑地公園

登録者数：222名

出席者総数：135名（内地区役員関係者17名、米山奨学生8名）

ホストクラブ：豊中南RC

片山勉ガバナーの地区方針に則ったロータリーデーを実施するためにテーマを「地域社会に良いことをしよう」と決め、事業内容はライズリーR I会長が提起されています「環境に対するロータリーの良心」の実践としての「植樹」と、片山勉ガバナーが提起されています「ロータリーの公共イメージの向上・認知度の向上」のために「春一番コンサート」を実施いたしました。

植樹は春に相応しい桜の植樹を、片岡勉ガバナーの木、熊澤一郎ガバナー補佐の木、そして1組7RCのクラブの木を順次植樹して頂きました。植樹終了後、ガバナー、ガバナー補佐そして7RCの会長による記念碑の除幕式を執り行いました。植樹・記念碑の除幕式終了後に行いました「春一番コンサート」は好天に恵まれ、300名以上の市民が聴衆として参加され、若者たちの元気な演奏を十二分に楽しんで頂きました。

この事業には、大阪府池田土木事務所、一般財団法人大阪府公園協会、そして大阪音楽大学の多大なご協力を頂きましたことをご報告させて頂きます。

最後になりましたが、現1組は今年度で無くなり次年度より新しい組に再編されますので、植樹と記念碑の設置には現1組が存在したことの証の意味も兼ねさせて頂きました。

現1組が無くなった後も桜が立派に成長し、市民の皆様の憩いの場所になるように末永く見守ってまいりますので、RCメンバーの皆様も桜と記念碑を見に服部緑地公園にお越し頂ければ幸いです。





IM第4組ロータリーデー 報告

八尾東RC 会長

ロータリーデー実行委員長

**大松桂右
石川義一**

(八尾東RC)

テーマ：「今、国際奉仕は」

日時：2018年4月14日（土）13:00～17:00

場所：シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間（西）

登録者数：356名

出席者数：196名

イアン・ライズリー RI会長は奉仕活動の重要性について「国・地域の的確なニーズの把握」「成果の持続可能性」「大きなプロジェクト」によって国、地域そして人々に変化をもたらすことができると述べられています。そのような中、本年度は片山G、百済G補佐のご指導の下「今、国際奉仕は」とのテーマで、今後、各クラブが取り組む国際奉仕事業の参考になるようにという趣旨において、海外の姉妹クラブからもご参加頂き「海外から見た日本の国際奉仕」について、RI第3810地区のファニート‘サニー’T.ベンチュラPG（ダウントウンマニラRC）のプレゼンテーションやRI第3460地区の台中RC/RI第3350地区のヤンナワRC/RI第3860地区のセブ南RCの3クラブからのビデオレターによる「生の声」での国際奉仕事業の実績報告を行って頂きました。（RI3610地区の麗川RCからはお祝いのご挨拶がありました。）

その後、国内の10クラブから「我がクラブの国際奉仕」について、これまでの実績報告や今後の事業の取り組み方などをそれぞれが発表した後、パネルディスカッション形式にて意見交換や質疑応答を行いました。全クラブに対して質疑応答がされるなど、多岐にわたり活発な議論ができ、閉会後、参加されましたロータリーアンからは「今回のロータリーデーは、多くの気づきがあり、他のクラブから学んだことが今後の活動を行うにあたり、大いに参考になりました。」との声も頂くなど、実りの多いIMロータリーデーとなりました。

また、次年度には現在の1～8組あるIMの組数が1～6組にとグループが再編されます。つきましては、本年度が現在のグループによる最後のIMロータリーデーとなることから、皆様の記憶に残るような内容となるよう心がけ、準備を進めて参りました。国内だけではなく、海外のRCも巻き込んでのIMロータリーデーとなつたため、IM第4組の各RCをはじめ海外のRCには、度重なる協議や打ち合わせにご協力を賜りましたことに感謝を申し上げまして、IM第4組ロータリーデー実施報告とさせて頂きます。ありがとうございました。





IM第1組 フレッシュロータリアン研修交流会報告 財団設立50周年を迎えた米山記念奨学について学ぶ

IM第1組 若手会 幹事 中谷裕二
(豊中南RC)

2018年3月24日(土)、大阪府立服部緑地公園内で開催されましたIM第1組ロータリーデーに先立ち、公園内レストラン「メイブーム」にて熊澤一郎AGの主催で本年度2回目の1組フレッシュロータリアンの集いを地区の方針に従い10時半から13時までの間研修交流会として開催いたしました。

当日は1組内7RCのフレッシュロータリアン約40名を中心に片山勉ガバナーはじめ地区役員、ベテラン会員また1組内の米山奨学生2名・米山学友2名・青少年交換留学生1名のご参加もいただき総数約80名のロータリー関係者で会場がほぼ満席となりました。

1組では昨年度はロータリー財団100周年にちなんでロータリー財団や補助金事業について学ぶ機会がありましたが、今年度は熊澤AGの発案で米山記念奨学財団設立50周年にあたり、若手会員に米山奨学制度に対する理解を一層深めていただこうという主旨で研修会を開催いたしました。

まず熊澤AGの主旨説明の後、1組池田くろはRCから出向いただいている田中隆弥地区米山奨学委員長からご自身の豊富な経験のうえで、米山奨学制度の基礎知識から、基金への寄付、奨学生の選考からカウンセリングに至るまでの詳細な説明をいただきました。

引き続き池田くろはRCの米山奨学生と米山学友、豊中南RCの奨学生、箕面千里中央RCの青少年交換留学生にもスピーチをいただきました。奨学生・学友からは感謝の言葉や奨学生時代の思い出、今後の抱負がすべて流暢な日本語で語られ、さらには池田くろはRCのカウンセラーからの貴重な経験談と奨学生・学友への激励の言葉もお聞きすることが出来ました。

研修会の締めくくりとして片山ガバナーからこの研修交流会に対する大変ありがたい講評をいただいた後、約1時間半にわたって昼食・交流会に入りましたが、フレッシュロータリアン相互の交流また奨学生・学友たちとの有意義な交流の場になりました。閉会にあたり福田治夫地区学友委員会副委員長からもご挨拶があり花を添えていただき、最後に熊澤AGの謝辞によって和やかな雰囲気で研修交流会を終了しました。

今まで米山奨学生とは無縁の若手ロータリアンも多いと思われる中、この研修交流会により米山奨学生を身近に感じ、米山奨学基金への寄付への理解をいただく絶好の機会になったものと、今回の司会をしながら実感した次第です。ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。

1組では今期はあと1回フレッシュロータリアンの懇親会を開催する予定ですが、またクラブを超えた交流がはかれる内容を企画したいと思っております。





IM第4組 フレッシュロータリアン研修交流会報告 「ロータリー これからの活動」

IM第4組 ガバナー補佐

百 濟 洋 一

(東大阪中央RC)

日時：2018年4月14日（土）10:00～11:30

場所：シェラトン都ホテル大阪 4F「大和の間」

ホストクラブ：東大阪中央RC

IM第4組10クラブから、45名のフレッシュロータリアン・一般ロータリアン・来賓者の参加を賜り開催しました。

この会合は、今年度の片山ガバナーの強い意向で、入会5年未満のロータリアンを対象とし、ロータリークラブの理解を深め、各クラブの若手会員の懇親を深めて頂くことを目的とした研修交流会です。

井川孝三(第2660地区研修委員会)様から「ロータリー これからの活動」についての卓話をして頂きました。ロータリーの誕生・ロータリーの3大義務・ロータリー財団・米山奨学生等のロータリー活動・事業について基本的なお話をされました。そして、各7～8名のテーブルにて私を含め東大阪中央RCの6名の会員がテーブルリーダーとなり進めていきました。

テーブルディスカッションでは自己紹介から始まり種々討論がなされました。フレッシュロータリアンは地区役員・10年以上のロータリアンとディスカッションが出来て良かった、そしてこれからのロータリー活動に生かしたいと述べられ、また、テーブルリーダーを担当しましたロータリアンも地区役員とのディスカッションが出来て良かったと好評を頂きました。地区役員の皆様ありがとうございました。

最後に、片山ガバナーの講評を頂き、フレッシュロータリアン研修交流会を閉会しました。





2017学年度 米山奨学生終了式・歓送会 報告

米山奨学委員会 委員長

田中 隆弥

(池田くれはRC)

日 時：2018年2月24日(土) 17:30～20:30

会 場：千里阪急ホテル

出席者：片山勉G、若林紀男PG、山本博史GE、四宮孝郎GN、田中隆弥AGN、

古城紀雄AGN、加茂次也AGN、地区米山奨学委員会、各クラブ会長、幹事、米山奨学委員長、
米山カウンセラー、大学等指導教官、米山奨学生学友会（関西）

2018年2月24日（土）、千里阪急ホテルにて、国際ロータリー第2660地区2017学年度米山奨学生終了式・歓送会が開催されました。

第一部終了式は、地区米山奨学委員長 田中隆弥の開会挨拶で始まり、片山勉Gが終了生一人ひとりに終了証書を授与され、同時に記念品も贈呈されました。その後片山Gは、まず指導教官、世話クラブ、カウンセラーに対し感謝の言葉を述べられ、終了生全員に対して「皆さん、本日は終了おめでとうございます。日本で学んだことを胸に刻み、日本と自国とを結ぶ懸け橋となってください。ロータリアンとの絆を大切に、これからも世話クラブやカウンセラーと連絡を取り続けてください。」と祝辞を述べられました。そして終了生を代表して鄭芝エイさん（池田くれはRC）の謝辞、記念撮影と続いて第一部終了式が終了しました。

第二部歓送会は、山本博史GEの激励の言葉の後、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会副理事長 若林紀男PGの乾杯のご発声で和やかな雰囲気の中、会食・懇親が始まりました。懇親会の途中で、若林PGが世話クラブのカウンセラー一人ひとりに対して労いの言葉をお掛けになり、感謝状と終了生のための色紙を贈呈されました。その後の感謝と贈る言葉では、終了生とカウンセラーを代表して、オー マンチー チェルシーさん（大阪西南RC）、ペトロフ、アレクサンドルさん（四条畷RC、香里園RC）、ジョン ミンチャンさん（千里メイプルRC）、ウリナさん（大阪梅田東RC）、鄭芝エイさん（池田くれはRC）、オウ センさん（大阪ネクストRC）、アルタンフヤグ、チメドラムさん（大阪大手前RC）と各々のカウンセラー7組が、奨学生生活を振り返ってお互いに言葉を掛け合っていました。そして米山奨学生学友会（関西）松田振興 直前会長の挨拶、岡部倫正 地区米山奨学副委員長の閉会挨拶と続き、最後にロータリーソング「手に手つないで」を全員で合唱して第二部歓送会が終了しました。

今学年度、国際人材育成事業として奨学生を育ててくださいましたカウンセラーを始め、世話クラブの皆様のお陰で奨学生たちは無事に巣立ってゆくことができました。心より感謝申し上げます。この奨学生たちがさらに成長し将来日本と世界を結ぶ懸け橋となってくれることを祈念しご報告とさせて頂きます。





2018学年度 米山奨学生オリエンテーション 報告

米山奨学委員会 委員長

田中 隆弥

(池田くれはRC)

日 時：2018年4月4・5日

会 場：湖邸滋びわこクラブ、ホテルヴィアーレ大阪

出席者：片山勉G、高島凱夫PG、山本博史GE、宮里唯子次年度代表幹事、

地区米山奨学委員会、次年度地区米山奨学委員会、各クラブ会長、幹事、米山奨学委員長、

米山カウンセラー、大学等指導教官、米山奨学生学友会（関西）、チームRYLA

国際ロータリー第2660地区2018学年度米山奨学生オリエンテーションは、当地区として初めて1泊2日で開催しました。

第1日目の4月4日、新奨学生33名全員15:00に滋賀県大津市にある研修施設、湖邸滋びわこクラブに集合し、16:00より地区米山奨学委員長 田中隆弥のオリエンテーションを受けました。その後のチームRYLA 3名の指導による6つのグループに分かれてのアイスブレイク、そして5名の米山奨学生学友会（関西）がコミュニケーションを図ってくれることにより、新奨学生たちの緊張感が和らぎました。

19:00からの懇親会では、地区米山奨学委員会の元正副委員長4名も応援に駆けつけて宴を盛り上げてくださいました。また奨学生たちはアイスブレイクで分かれたグループごとに着席し、ふるまわれた焼肉を大いに楽しみ笑顔があふれています。

21:00からは自由時間でしたが、ほぼ全員がロビーに移動して遅くまで会話が弾んでいました。そして翌朝、朝食後に一旦解散し、夕方からの合同オリエンテーションに備えました。

第2日目の4月5日、ホテルヴィアーレ大阪にて、カウンセラー・指導教官オリエンテーション、奨学生・指導教官・カウンセラー・クラブ会長合同オリエンテーションが開催されました。

合同オリエンテーションでは、委員長 田中の開会挨拶の後、片山勉Gより新奨学生に対し歓迎のお言葉を頂きました。そして奨学生・カウンセラー相互自己紹介では、出会いの挨拶・懇談、例会参加の詳細等を相談して決めました。

確約書の作成・提出では、生駒伸夫地区米山奨学委員の丁寧な説明に従って確約書を間違いないよう作成し全員提出することができました。オリエンテーションを受け、確約書の提出をもって、33名は正式に米山記念奨学生となりました。

全員で記念撮影後、山本博史GEの開会挨拶および乾杯のご発声で賑やかに懇親会が始まりました。奨学生自己紹介では、新奨学生たちは落ち着いてスピーチをしてくれました。また継続奨学生たちの立派なスピーチを聞いて、1年間の成長を嬉しく思いました。

宴が終盤に差し掛かり、米山奨学生学友会（関西）のディネス シュレスタ会長より学友会についての話の後、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員高島凱夫PGより講評を賜りました。そして岡部倫正地区米山奨学副委員長の閉会挨拶の後、全員で輪になってロータリーソング「手に手つないで」を合唱してお開きとなりました。





交換学生スキーの集いに参加して

青少年交換委員会 委員長

横田孝久

(東大阪RC)

3/26から2泊3日で国際ロータリー第2600地区白馬RCが主催する交換学生スキーの集いに、当地区の来日生らと共に参加しました。この行事は今年で31回目を数え、今年は全国9地区から74名の来日生ならびに派遣候補生、29名のROTEX・RACに20名の白馬高校生を加えて、計123名の学生が集まり、同行したロータリアンを合わせると総勢200名を超える賑やかな会となりました。

当地区からは来日生5名、派遣候補生2名、ROTEX6名と4名の地区委員を加えた計17名の他に、RIJYECアドバイザーの近藤G補佐がオーストリア1910地区から来日中のRAC3名と共に参加しました。

到着初日は夕食後、地区別に趣向を凝らした歌や踊り、ご当地クイズなどを披露しました。翌日は開会式後すぐに岩岳スノーフィールドへ移動し、グループに分かれて終日スキーやスノーボードを楽しみました。夕刻より白馬RCの移動例会に全員で参加し、夕食では学生とロータリアンに分かれて交流を深め、その後はロビーにてプロのバンド演奏やダンスユニットと共に学生たちは大いに歌い、踊って楽しい一夜になりました。ホテルを貸切で使わせて頂いているからこそ出来たイベントでした。最終日は2650/2660地区は午前中だけ滑り、時間を切り上げて開催していただいた閉会式に参加して帰路に着きました。帰りのバスの中でも学生達は疲れも見せず、京都到着後の別れを惜しむかのように楽しく過ごしていました。

海外の地区に比べ、日本では各地区の来日生が一堂に集まる行事が限られ、折角持参した各国の国旗を掲げる機会も限られます。当地区の来日生にも出来るだけ他地区来日生との交流の場を設けてあげたいと考えて今回この集いに参加しましたが、期待以上に楽しんでもらえたようです。派遣候補生も自分と同じ国や地区の派遣される他地区的候補生と出発前に交流を持つことが出来たことは大きな収穫だったと思います。

今回初参加でしたが、ホテルを貸切で使わせて顶いた事で、学生達は思う存分楽しむことが出来ましたし、スキーでは白馬高校生やロータリアンが指導役で各班についてくれたことで安心して楽しむことが出来ました。こうした行事を30年以上も続けて実施されている白馬RCのご努力に敬意を表すると共に、メンバー各位のおもてなしに心より感謝します。またバスの手配や現地との連絡を全てお任せしてしまった第2650地区青少年交換委員会の柴田委員長様、岩滝副委員長様にも大変お世話になりました。この場を借りて御礼申し上げます。今後も来日生や派遣候補生にこうした交流の機会が増えることを期待しつつ報告させていただきます。





2017-2018 年度国際ロータリー第 2660 地区ローターアクト



活動報告

2017-2018 年度 地区ローターアクト代表 三窪 真由
(所属：寝屋川ローターアクトクラブ)

「第 2 回地区献血」

開催日時：2018 年 2 月 25 日（日） 10:00～16:00

開催場所：大阪府下 5 地点

（京橋駅前・難波駅前・梅田 HEP 前・イオンモール大日・樟葉駅前）

ホストクラブ：大阪天満橋ローターアクトクラブ

2018 年 2 月 25 日（日）、地区行事第 2 回地区献血が開催されました。

こちらの行事は、毎年輸血用血液が不足する夏と冬の年 2 回実施している、当地区の継続行事です。夏の第 1 回地区献血同様、大阪府下 5 地点にて献血の呼びかけ運動を行いました。

また当日には、地区社会奉仕委員会の皆様をはじめとする多くのロータリーファミリーの皆様のご協力と、3523 地区（台湾・台北）のローターアクターも海外研修の一環として呼びかけ活動への参加をいただきました。

結果としまして、受付者：416 名 採血者：363 名 と、ホストクラブが掲げていた目標である 350 名を達成するとともに、地区ローターアクトで掲げていた年間採血目標 600 名も併せて達成することができました。本当にありがとうございます。

→ 年間受付者合計 814 名 年間採血者合計 681 名 （年間目標 600 名達成）

※参考 第 1 回地区献血結果（2017 年 7 月 23 日実施）合計 受付：398 名 採血：318 名

また、この数字は過去最高の採血者数となっております。これもひとえに皆様のご協力の賜物です。重ねて御礼申し上げます。



台湾アクターも呼びかけ活動



SNS パネルの使い PR



SNS グッズで若者へ PR



「世界R A C D A Y」

開催日時：2018年3月11日（日）

開催場所：港区民センター

ホストクラブ：茨木ローターアクトクラブ

2018年3月11日（日）、地区行事「世界R A C D A Y」が開催されました。世界R A C D A Yとは、最初のローターアクトクラブが認証された記念日である3月13日の前後1週間、ローターアクターの仲間意識の向上とマスコミへのPRのために、世界のローターアクターが様々なイベントを行います。当地区では、地区単位でその記念日に因んだ行事を開催しています。

今年度は、初の試みとして4つの奉仕部門に分け、クラブ奉仕部門で大阪城公園クリーンハイク、国際奉仕部門で難波駅前にてポリオ募金活動、社会奉仕部門で天保山まで車椅子体験・京セラドームまで目隠し体験、専門能力開発委員会部門で大阪市めぐりを行いました。

初めてで準備に苦労した点もありましたが、ホストクラブと同じ目標に向かって汗を流せたことは、ローターACTらしくて、貴重な経験となりました。

また、今回の経験は、各クラブの例会にて生かしていただくなど、今後のローターACTの活動の幅が広がるいい機会になったのではないかと思います。



開会挨拶



メインプログラム説明



集合写真

5月20日（日）寝屋川ローターアクトクラブがホストクラブとなり摂南大学 寝屋川キャンパスにて地区年次大会が開催されます。

ローターACTの一年間の活動報告をおこないますのでご多忙中と存じますが、多くの方にご参加いただければ嬉しく思います。よろしくお願い申し上げます。



「地区大会記録書」掲載のお知らせ

2017-18年度地区大会 実行委員会 幹事

松本裕典

(大阪東RC)

去る11月10日～11日に開催されました当地区・地区大会には会員の皆様に多数ご参加を頂き無事開催する事が出来ました。ここに改めて厚く御礼を申し上げます。

加藤玄静RI会長代理ご夫妻、大谷透大会エイドご夫妻ご臨席のもと、斎藤直美RI理事、渡辺好政元RI理事はじめ多くのご来賓の皆様にご来臨いただき、盛会裡に進めさせていただく事ができました。衷心より感謝申し上げます。

又、片山ガバナー、パストガバナー各位、塩谷地区代表幹事、地区関係の皆々様、事務局皆様のご指導のおかげで何とか実行委員会の役割を果たすことができました。

この感謝の気持ちをこめて、当日の記録をまとめました。そしてホームページに掲載できる運びとなりましたのでご高覧いただけましたら幸いです。



をクリックしていただくと関連した 写真が



をクリックしていただくと関連した 動画が



をクリックしていただくと関連した 文章が ご覧頂けます。

○いざれも編集の都合上、一部の掲載となっておりますがご容赦下さい。

○分科会 I、IIでの講演の動画は各クラブの卓話にご活用下さい。(講演者のご了解を得ています)



2017-18年度 米山奨学会 寄付状況

2018年2月末日現在

クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	特別寄付者 割合	個人平均 寄付額
東大阪東	305,000	925,000	1,230,000	19	168.4%	64,736
大阪淀川	160,000	1,841,000	2,001,000	32	103.1%	62,531
大阪中之島	305,000	1,310,000	1,615,000	32	100.0%	50,468
大阪東	747,000	5,162,000	5,909,000	125	104.0%	47,272
大阪中央	215,000	1,575,550	1,790,550	44	97.7%	40,694
守口イブニング	117,500	787,500	905,000	23	104.3%	39,347
大阪大淀	210,000	1,414,150	1,624,150	42	90.5%	38,670
東大阪中央	100,000	540,000	640,000	20	90.0%	32,000
大阪梅田	180,000	950,000	1,130,000	36	94.4%	31,388
くずは	0	2,080,000	2,080,000	69	97.1%	30,144
大阪リバーサイド	315,000	615,000	930,000	31	77.4%	30,000
大阪うつぼ	165,000	820,000	985,000	33	97.0%	29,848
大阪東淀ちゃやまち	135,000	650,000	785,000	27	96.3%	29,074
大阪心斎橋	190,000	871,000	1,061,000	38	102.6%	27,921
大東中央	135,000	600,000	735,000	27	88.9%	27,222
大阪咲洲	90,000	400,000	490,000	18	72.2%	27,222
吹田西	250,000	1,110,000	1,360,000	50	74.0%	27,200
八尾中央	67,500	285,000	352,500	13	92.3%	27,115
大阪城東	85,000	890,000	975,000	36	94.4%	27,083
東大阪みどり	112,500	480,000	592,500	22	72.7%	26,931
大阪北	1,104,000	3,845,000	4,949,000	188	50.5%	26,324
高槻東	292,000	629,000	921,000	36	102.8%	25,583
八尾	277,500	1,115,000	1,392,500	55	83.6%	25,318
吹田江坂	140,000	560,000	700,000	28	100.0%	25,000
茨木	580,000	117,000	697,000	28	39.3%	24,892
豊中千里	273,750	613,000	886,750	36	19.4%	24,631
大阪南	640,000	3,395,000	4,035,000	167	68.3%	24,161
吹田	297,500	1,150,000	1,447,500	60	83.3%	24,125
大阪フレンド	130,000	460,000	590,000	25	76.0%	23,600
大阪御堂筋本町	237,500	880,000	1,117,500	48	95.8%	23,281
千里	155,000	540,000	695,000	30	70.0%	23,166
豊中南	52,500	410,000	462,500	20	65.0%	23,125
大阪	1,335,000	4,849,000	6,184,000	268	51.9%	23,074
東大阪	187,500	1,610,000	1,797,500	79	54.4%	22,753
大阪柏原	132,500	451,000	583,500	27	96.3%	21,611
大阪西南	485,000	1,670,000	2,155,000	100	69.0%	21,550
摂津	157,500	524,000	681,500	32	106.2%	21,296
大阪堂島	120,500	474,580	595,080	29	93.1%	20,520
大阪船場	240,000	560,000	800,000	39	102.6%	20,512
大阪城北	287,500	900,000	1,187,500	58	12.1%	20,474
千里メイプル	105,000	294,000	399,000	20	95.0%	19,950
豊中	216,000	500,000	716,000	36	72.2%	19,888



クラブ名	普通寄付	特別寄付	合計	会員数 (7月1日)	特別寄付者 割合	個人平均 寄付額
大阪難波	345,000	820,000	1,165,000	59	88.1%	19,745
大東	185,000	555,000	740,000	38	97.4%	19,473
高槻西	107,500	290,833	398,333	22	90.9%	18,106
守口	168,000	584,000	752,000	43	100.0%	17,488
大阪西	477,500	1,220,000	1,697,500	98	30.6%	17,321
八尾東	137,500	320,000	457,500	28	82.1%	16,339
池田くれは	155,000	350,000	505,000	31	19.4%	16,290
大阪鶴見	167,500	399,200	566,700	35	48.6%	16,191
大阪天満橋	147,500	737,500	885,000	55	107.3%	16,090
大阪大手前	204,000	340,000	544,000	34	100.0%	16,000
茨木西	135,000	280,000	415,000	27	103.7%	15,370
大阪天王寺	245,000	490,000	735,000	48	102.1%	15,312
茨木東	190,000	360,412	550,412	38	81.6%	14,484
香里園	56,000	141,000	197,000	14	100.0%	14,071
大阪西北	215,000	360,000	575,000	42	40.5%	13,690
大阪城南	247,500	420,000	667,500	49	16.3%	13,622
箕面	135,000	216,000	351,000	27	74.1%	13,000
箕面千里中央	112,500	140,000	252,500	22	50.0%	11,477
大阪ネクスト	120,000	175,000	295,000	26	30.8%	11,346
枚方	255,000	265,000	520,000	51	94.1%	10,196
門真	150,000	150,000	300,000	30	100.0%	10,000
大阪ユニバーサルシティ	175,000	175,000	350,000	35	100.0%	10,000
高槻	257,500	260,000	517,500	52	34.6%	9,951
新大阪	172,500	171,000	343,500	35	57.1%	9,814
大阪イブニング	70,000	70,000	140,000	15	33.3%	9,333
交野	213,000	100,000	313,000	36	2.8%	8,694
大阪梅田東	200,000	130,000	330,000	39	7.7%	8,461
東大阪西	88,500	170,000	258,500	31	48.4%	8,338
池田	260,000	0	260,000	33	0%	7,878
大阪平野	210,000	105,000	315,000	42	14.3%	7,500
大阪なにわ	87,500	12,000	99,500	16	6.2%	6,218
大阪北梅田	325,000	0	325,000	64	0%	5,078
四條畷	25,000	0	25,000	5	0%	5,000
大阪東南	172,500	0	172,500	35	0%	4,928
大阪アーバン	155,000	0	155,000	32	0%	4,843
大阪帝塚山	235,000	0	235,000	49	0%	4,795
大阪そねざき	112,000	0	112,000	31	0%	3,612
大阪水都	45,000	0	45,000	40	0%	1,125
寝屋川	0	0	0	39	0%	0
大阪みおつくし	0	0	0	10	0%	0
合 計	18,089,750	58,674,725	76,764,475	3,602	64.2%	21,311



MY ROTARY アカウント登録方法

Step:1

"my.rotary.org" にアクセス、または "MY ROTARY" で検索

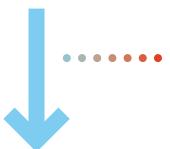
Step:2

右上にある "アカウント登録" をクリック



Step:3

名前(半角アルファベット)・メールアドレスを入力



注意!

"住所・郵便番号・その他のEメールアドレス" の入力欄が表示された場合は必ず作業をストップし、後日クラブ役員または事務局にお問い合わせください。

Step:4

メールが届くので "アカウントを有効にする" のボタンをクリック

Step:5

パスワード／秘密の質問を設定 (忘れない様に必ずどこかに記録してください)

Step:6

クラブの関係者ですか?○はい／Remember Me にチェック、"Sign In" のボタンをクリック

以上で登録は完了です。既に登録済みの方もログイン後のページ左側に所属クラブの情報が表示されているかご確認ください。所属クラブの情報(My Club Snapshot)が表示されていない場合はロータリークラブのメンバーとして認証ができていません。その場合は、国際ロータリー日本事務局 (TEL: 03-5439-5800) へ連絡のうえ、必要情報(会員ID・クラブ名・氏名・メールアドレス)を伝え認証を行ってください。





Rotary NEWS Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2018年5月号

発行 : Zones 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター
 第3ゾーン担当

■「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」

今年の国際協議会に出席されたガバナーエレクトの皆様には研修を終えられて新たな気持ちでガバナ一年度に備えておられるものと思います。

来年度のラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」であります。今年度のライズリー会長の「ロータリー:変化をもたらす」のテーマの延長線上のテーマではないでしょうか。しかし、インスピレーションをどのようにロータリアンに理解してもらうことができるかが難題であろうかと考えます。

私は「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」という言葉が、ラシン会長の意図するところではないかと考えます。ロータリアンがロータリーの意義を社会に理解してもらうために、若者を巻き込んで共に行動を起こすことが求められています。時勢を見失ってはなりません。

先日の日台親善会議に出席された方も多いと思いますが、台湾、韓国そして日本に見られる東洋的な考え方と欧米諸国の考え方方に違いがあるように思われますが、目指す理念は同じであると思います。

国際ロータリー 理事 石黒慶一

■「地域社会を変える行動人」

「世界を変える行動人」について、皆様は昨年来RIから発信されてくる数多くのパンフや写真をご覧になっていらっしゃるかと思います。「世界を変える行動人ロータリアン」の様子を一般社会へ伝えることは、ロータリーの公共イメージ向上という観点から大事なことであります。

一方、各クラブと地区にとって重要なことは、ロータリアンがそれぞれの「地域社会」で世の為、人の為に日々活動していることを地元の人々に先ずよくご理解頂くことです。「世界を変える行動人」はその延長線上にありますが、原点となる「地域社会を変える行動人」は皆様方のそれぞれのクラブや地区にいらっしゃいます。



来たれ学友中心の若者の集い
 坂出東四国ロータリー衛星クラブ
 入会金1万円・年会費7万円
 衛星クラブ議長

3月末東京で開かれました「会員基盤向上セミナー」で「地域社会を変える行動人」のお一人として、四国地域を中心にカバーする「坂出東四国ロータリー衛星クラブ」をこの度立ち上げられました2670地区直前ガバナーのARPIC前田直俊さんを紹介致しました。この新クラブは学友を中心に、現代社会の多様な入会候補者のニーズを汲み取ることが出来る会員構成で設立準備を進められました。

日本全体の会員純増率は、過去5年間のDataでは、ほぼ+/-ゼロに近い数字であり、40歳以下の会員数は僅か1%ほどです。今後の5年間は、会員の高齢化が更に進み、既存クラブでの純増は極めて難しい状況が続くと思われます。従いまして会員数の伸び余地が残されているのは、クラブ運営を多様化した「衛星クラブ」や「新型クラブ」ということになりそうです。その様なクラブが増えて行きますと、既存クラブの運営も次第に変化して行くのではないでしょうか。日本では女性会員の入会が1989年に可能になってから30年近くが経過しやっと6%を占めるようになりました。

日本は変革に時間が掛かる国ですが、私達の工夫と努力次第で国際水準への到達は可能と前向きに捉えて行きましょう。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■「ロータリー活動の実働部隊はクラブ会員である」

言うまでもないことですが、ロータリー活動の具体的実働部隊はクラブの会員であり、その直接のリーダーがクラブ会長です。クラブの会長がやる気を起こさなければ、如何にRI会長やガバナーが旗を振ってもどうにもならないし、逆にクラブ会長がやる気になればかなりの計画が実現します。そして、クラブ会長は地区ガバナーのやる気の強弱を感じて行動してくれる可能性があります。従って、ロータリー活動を活発化するためには、ガバナーが如何にしてクラブ会長にやる気を起こさせるかだと思います。

そのガバナーを支援するのがRI会長であり、私たちRI国内委員団だろうと思っています。ところが、例えば私は九州4地区担当のARCですが、私の所属する第2700地区の事情はある程度把握できているし、ガバナーに対しても具体的な支援が可能ですが、他の3地区については支援が限られます。そこで、今年度は主として自分の地区で会員増強に効果があるだろうと思われる方法について試行錯誤して、その効果をみて来年度からは他の3地区的ガバナーにも具体的な方法で本格的に働きかけようと思っています。幸い今年度、第2700地区の安増ガバナーは5年間で会員を6%、つまり1年で1.2%の増強を目標にするという第一次5ヵ年計画を立てています。現在の会員増の勢いから見ると目標達成は簡単ではないと思われますが、例年よりは多い会員増が期待され、6月末が待たれます。

話の次元は変りますが、既存のクラブの会員増強も必要ですが、ロータリー活動の真の活性化には、従来型のクラブとは異なるクラブ運営に柔軟性を持った新しいタイプのクラブを新設して、奉仕の心と活発で実際的な社会奉仕活動を好む若い世代の会員を増やすことが必要であり、このプロジェクトに取り組むリーダーを養成することが困難であるけれど極めて重要だと思います。女性に期待したいですね。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭



文庫通信 (367号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー 50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約24,000点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。 クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

文庫資料から (2)

- ◎「ロータリーを語る」 ロータリー復帰協議会 1948 45p
- ◎「奉仕こそ我がつとめ」 小林雅一訳 東京R.C. 1956 143p
- ◎「そろばんと論語」 塚本義隆 1974 60p
- ◎「はげすすめ」 安野譲次 1974 139p
- ◎「ロータリーの心得」 ガイ・ガンデッカー著；田中毅訳 3p
- ◎「やさしいロータリーの話 -間柄の美学-」 佐藤千壽 1984 27p
- ◎「The Meaning of Rotary ロータリー解析」 Vivian Carter著；田中毅訳 1999 99p
- ◎「ロータリーへの道〔三訂版〕」 ポール・ハリス著；柴田實訳 成田R.C. 2011 372p
- ◎「『ロータリーの理想と友愛』読本」 富田英壽編著 2016 274p

[以上申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階
TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日



お知らせ

敬弔 — 謹んでご冥福をお祈り申し上げます —

中嶋 邦治 会員 (大阪鶴見RC) 2018年3月9日逝去 (享年68歳)

会長、幹事、理事
米山功労者 (マルチプル)、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー、ベネファクター

月信編集委員会からのおねがい

- ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-mailにてお願い致します。
折り返し、できるだけ早くご連絡致します。
- 投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。
- 物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

月信編集委員会

- ガバナー 片山 勉 (大阪東RC)
- 地区代表幹事 塩谷 真治 (大阪東RC)
- 地区副代表幹事 土井 孝夫 (大阪東RC)
- 地区副代表幹事 小高 得央 (大阪東RC)
- 担当地区幹事 中川 宏一 (大阪東RC)
- 担当地区幹事 平野 哲也 (大阪東RC)
- 事務局員 船橋 美紗子

2017-2018年度
国際ロータリー 第2660地区

ガバナー事務所のご案内

●事務局スタッフ

ガバナー	片山 勉
地区代表幹事	塩谷 真治
地区副代表幹事	土井 孝夫
	小高 得央
事務局長	栗正 久美
事務局員	井上 望美
	加茂 春日
	船橋 美紗子
	杉本 亜鶴巳

●所在地

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL 06-6264-2660
FAX 06-6264-2661
E-mail gov@ri2660.gr.jp

●ホームページ

<http://www.ri2660.gr.jp/>

●勤務時間

9:30~18:00

●休日

土曜、日曜、祝日



ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせください。



国際ロータリー 第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6階
TEL : 06-6264-2660 FAX : 06-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp

Rotary International District 2660

Toyama Bldg. East 6F, 1-5-11 Azuchi-machi, Chuo-ku, Osaka 541-0052 Japan
TEL : +81-6-6264-2660 FAX : +81-6-6264-2661 E-mail : gov@ri2660.gr.jp